

2012年家計報告

3月例会 大阪友の会

2012年家計報告より

生活部今年度のテーマ
適量の生活を
一家計簿を真ん中に一
～持ちすぎない 食べすぎない 使いすぎない～

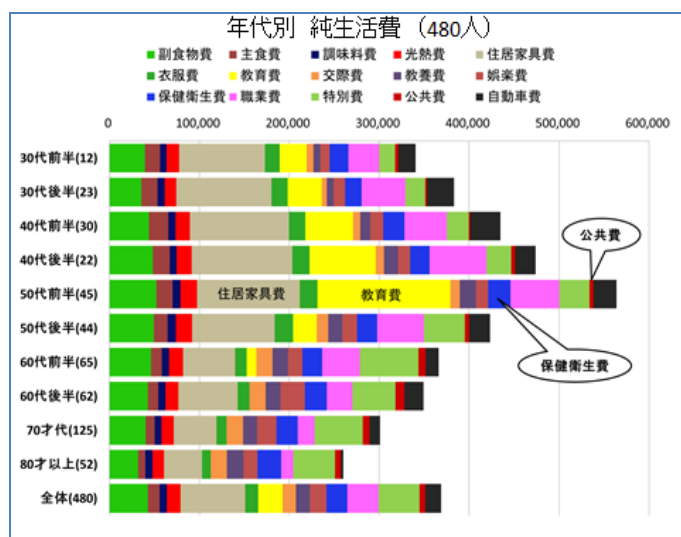
2013年3月例会 生活部

家計報告 提出状況

3年間推移	会員数	提出数	提出率 %	新	集計数	集計率 %	現金合わせ人数
2012年	829	515	62.1	29	480	57.9	252
2011年	857	510	59.5	27	480	56.0	248
2010年	853	508	59.6	11	464	54.4	247

さて、今年の生活部は、適量の生活を、家計簿を真ん中に 持ちすぎない、食べすぎない、使いすぎないでした。1年のまとめをして、どのように感じられましたか？

3年間でしてみると、会員数の減少もありますが、ピンクの欄の提出数、提出率、集計数、集計率ともに少しアップし、新の人が増えていることは、嬉しいことです。生活勉強会でも言いましたが、現金合わせをしている人数は、3年間で、ほとんど変わりません。家計簿をつける前に、お財布をひっくり返してお金を数える作業は、考えているより、きっと簡単です。



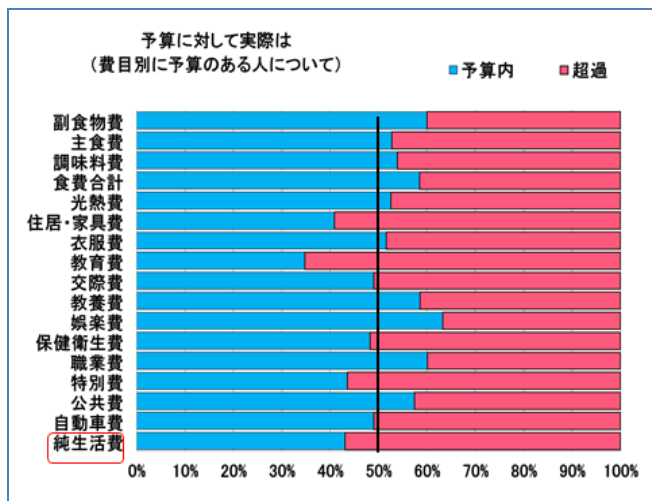
年代別純生活費の1世帯1ヵ月平均をグラフにしています。上から、30代前半其の参加人数、一番下が、大阪全体の平均です。50代前半を見て下さい。45人の平均です。純生活費全体で見ると50代前半がピークで 563,968 円でした。教育費の山になっていて、金額は 147,591 円です。教育費のある人は、40人で、40人の平均では 166,040 円です。4月には2012年度の教育費しらべがあります。教育費のある人ばかりでなく、教育費のない人のアンケートもあります。全会員が参加して子どもの育つ社会を経済面だけでなく共に考える機会にしたいと思います。次に費目別にみると住居家具費も50代前半の世代が多くなっています。交際費、娯楽費は、年代が上がると増えていますが、ブルーの保健衛生費は、

近畿部 2012年 提言

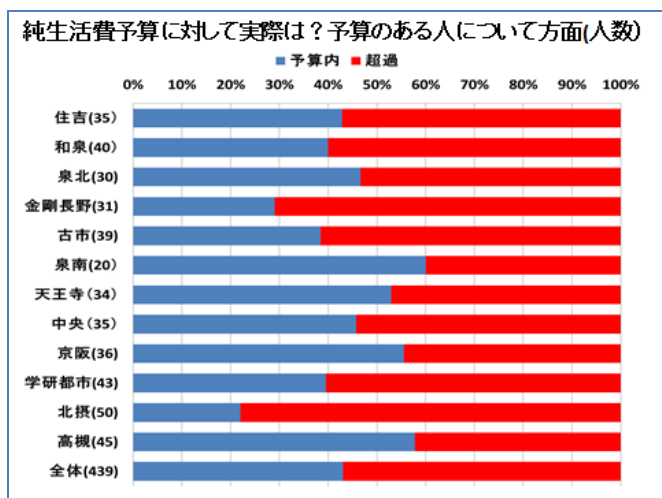
家計簿記帳の三原則は
真実性、明瞭性、継続性といわれています

まずは現金合わせから

1 世帯平均では、年代による違いは、少ないです。公共費(社会のために差し出す費用)は、60代後半の世代が一番多く出しています。全体の平均では、震災のあった2011年が、7642円 2012年は、6412円と低くなっていました。

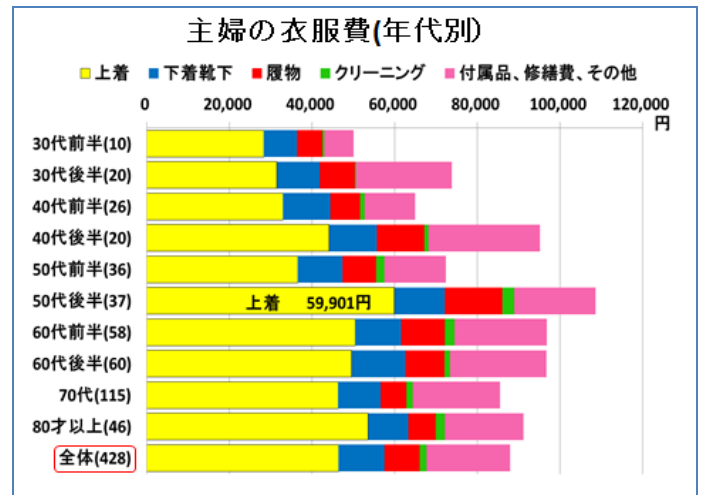


これは、費目別に予算のある人について予算に対して実際 予算内に収まったかどうかの割合を示しています。50%のところを引いています。ブルーは、予算内の割合、赤は、予算超過した割合です。一番予算を守りにくいのが、教育費でした。住居家具費、特別費も守りにくいようです。特別費、交際費などは、急な出費が考えられます。住居家具費の場合は、突然故障した家電製品の買い替えなどがあるのかもしれませんが、丁寧に予算をたてて、予算を守りたいです。一番下の純生活費のところをみてください。43%の人しか予算を守ることができていませんでした。



その純生活費の予算のことを、方面別にみてみます。カッコ内は、予算のあった人の数です。その参加人数の違いもありますが、方面によって、かなり様子が違います。予算を守ることができた人の割合

が大きいのは、泉南、高槻、京阪。北摂は、集計率は、1番でしたが、予算を守ることが出来た人は、少なかったようです。



年代別主婦の衣服費です。縦に年代、カッコ内は、参加人数です。横軸は、金額で、年額になっています。50代後半 37人の平均が一番多くなっています。上着は、59901円でした。今回の衣服費の内訳について、記入のあったのは、428人でした。集計には、480人出ていましたので、52人の人は、参加できていません。何を、何枚購入したか、丁寧に記入して、集計に入るだけでなく、衣服費の欄も記入できるようにしたいです。衣服費だけでなく、他の費目も丁寧な予算をたてたいと思います。数量も記入しておく、次年度には、予算を立てやすくなります。

2012年家計報告をまとめて

- ・丁寧に予算をたてる
- ・現金合わせをする
- ・予算を守る

大阪友の会 生活部

2012年の家計報告をまとめて感じたことは、予算のない人提出者が多いこと、提言にあった、現金合わせができていないことでした。まずは、丁寧に予算を立てること、現金合わせをして真実を掴むこと、予算を守ること、持ちすぎない、食べすぎない、使いすぎない、適量を考えた生活に近づきたいと思えます。